

# 株式会社山陽新聞社 **さん太しんぶん館**

贈  
呈  
理  
由

## 短時間に大容量の冷却が必要な印刷設備に、 経済性・環境性に優れたヒートポンプ蓄熱システムを採用



さん太しんぶん館



空冷ヒートポンプチラー



蓄熱槽



空冷・水冷  
ヒートポンプ



水蓄熱



生産プロセス

### 新印刷工場は 体験と学びの拠点

古くから「い草のまち」として知られ、近年では関西・四国・山陰をつなぐ交通の要所でもあることから、大手物流会社の配送センターなどが進出する物流拠点の町として発展を遂げる岡山県早島町に、2018年5月、山陽新聞社の新印刷工場「さん太しんぶん館」がオープンした。

旧印刷工場の設備老朽化にともなう移転新築で、敷地面積は約21,300㎡、延床面積は約9,360㎡の3階建て、最大40ページの印刷が可能な輪転機3セットを配備している。

新印刷工場は、「さん太しんぶん館」の愛称で親しまれ、子どもから大人まで新聞を身近に感じてもらい、「新聞の今」を知ってもらえるよう工夫を凝らしている。

NIE・NIB教育の拠点として工場内に

学習・見学施設を併設。見学施設には新聞の基本を案内するシアターをはじめ、新聞の製作工程を紹介したコーナーや、実際に輪転機で印刷される様子を間近で見られる「輪転機ブリッジ」と「体感デッキ」があり、新聞の役割、魅力、歴史を楽しく学ぶことができる。開館中は県内外の学校などから多くの見学者が訪れ、大変人気の高い施設となっている。

### 新聞の印刷工程における 省エネルギー・省コストへの取り組み

印刷工場の心臓部でもある輪転機室や立体紙庫(巻取紙保管)は、恒温恒湿に保つ必要があることから、空調システムは省エネルギー性の高い高効率空冷ヒートポンプチラーを採用した。

輪転機の稼働中は輪転機と電動機盤の冷却に大量のエネルギーを必要とするため、停止時間中にヒートポン

プチラーを稼働させて水蓄熱槽に蓄熱しておくことで、集中する負荷の平準化により省コストを実現している。

また、各機器に計測器を設置し、常に最適かつ高効率運転となるよう、中央監視装置による集中管理を実施するなど、運用面でも省エネルギーへの取り組みがなされている。

停電時でも新聞が発行できるよう、自家発電装置の設置や1週間分の巻取紙の備蓄など、大地震などの災害発生時のBCPを考慮。今後もタイムリーかつ正確な情報発信で、地元にも愛される紙面づくりを「印刷」から支援する。

#### さん太しんぶん館

所在地:岡山県都窪郡早島町早島2671-1  
建築設計:株式会社藤総合計画  
建築施工:株式会社松本組  
設備設計:株式会社藤総合計画、新菱冷熱工業株式会社  
設備施工:新菱冷熱工業株式会社  
延床面積:9,363.05㎡  
竣工:2018年5月新設

#### ■設備概要

空冷ヒートポンプチラー150kW×10台(東芝キャリア)  
冷水槽800㎡